



Rainbow Net

れいんぼー Topics

作品は「社会福祉法人若竹会 多機能事業所すきっぷ」です。



新年度を迎えて、3ヶ月目に入りました。周りの景色も色鮮やかに感じられる今日この頃です。

そんな中、車で出かけ、きれいな花を眺め、美味しいものを食べたい！と連想させるような作品が…。「わくわく」「ドキドキ」を体験しながら、自分の感じることを、自分の表現したいことを、夢や希望を作品に乗せて…というところでしょうか。想いのままに、無意識から生まれる多種多様な表現を、大事にしていきたいですね。

アール・ブリュットという言葉があります。生(き)の芸術という意味のフランス語で、正規の芸術教育を受けていない人による技巧や流行に囚われない自由で無垢な表現を讃えた言葉(日本財団・アール・ブリュット支援事業より)です。

宮古圏域のアール・ブリュット。きっといろんなところにあるはず！(文責・五十嵐)

目次 CONTENTS

●れいんぼーTopics	1	●はあとふるズームイン「地活センター」	8～9
●新年度にあたって	2	●平成29年度事業計画・予算	10
●平成28年度 事業報告・決算、 新任職員紹介	3～5	●Essay・虹の架け橋	11
●宮古圏域・ふくし現場からのレポート	6～7	●なんでもKEIJIBAN、 編集後記	12

新年度にあたって

宮古圏域障がい者福祉推進ネット

事務局長 盛合 一男



衣替えの季節となりましたが、皆様には、お元氣でお過ごしのことと思います。新年度が始まり、早いもので2ヶ月が経ってしまいました。年齢を重ねるごとに、時が経つのが早く感じられると言われていると思いますが、そのためだけではないような気がします。

早いといえばレインボーネットがNPO法人格を取得してから、今年度末で満10年となります。これまでの歳月を振り返りますと、すべて順調に事業を進めてきたわけではなく、様々な問題に向き合いながらも、その度にスタッフ一同大変な苦勞を重ね、力を合わせて乗り越えてきた積み重ねだと思っています。これもひとえに、これまで支えてくださいました行政を始

め関係者の皆様方の、温かいご支援とご協力があった賜物と感謝申し上げます。次第です。

当事業所における今年度のスタッフ体制につきましては、昨年度に続いてベテラン2人が異動となり、新たな体制でスタートしております。2人が担当していた計画件数が多かったことから、後任の担当者への引継ぎがスムーズに行なわれるよう努めるとともに、当事者・ご家族等関係者の皆様方にご迷惑が掛からないよう最大限の配慮をまいりました。結果として、多少の遅れはあったものの何とか無事、後任の担当者に引



継ぎができたものと思っております。

さて、今年度の事業計画につきましては、重点項目として、①地域の相談支援体制の連携・強化、②障がい者の権利擁護の推進、③障がい者の地域移行の推進、④高次脳機能障がいに係る理解促進、⑤市町村のニーズに対応した取り組みの推進の5項目を掲げております。

特に、項目③と④は、今年度新たに重点項目に加えたものです。項目③につきましては、昨年度、岩手県が実施した「地域移行希望等調査」の結果の活用を図りながら、入所施設や精神科病院からの地域移行の推進に努めてまいります。

項目④につきましては、昨年度まで岩手県からの委託事業として実施しておりましたが、今年度から補助事業でなくなったことから、レインボーネットの自主事業として実施し、高次脳機能障がいの理解促進に努めてまいります。

項目②に関わる「障害者差別解消支援地域協議会」の設置につきましては、平成30年4月からの圏域での合同設置に向け、各市町村において必要な事務手続き等を進



めていくこととなっており、レインボーネットといたしましても、自立支援協議会事務局として連携して取り組んでまいります。

また、圏域の4市町村からの受託事業であります「宮古地区地域生活支援事業」等につきましては、今年度におきましても行政を始め関係機関等と連携して確実に実施してまいります。

今年度も地域とともに歩み、地域の福祉ニーズに応えられる事業所として各種事業に取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年度 事業報告・決算

Ⅰ 法人運営の関係

- 会員総数 142人（団体）
- ◇ 正会員 101人（団体）
- ◇ 個人会員 73人・団体会員 28団体
- ◇ 賛助会員 41人（団体）
- ◇ 個人会員 33人・団体会員 8団体

- 総会・理事会・運営委員会の開催及び会計監査の実施

- ◇ 総会（1回開催）
- ◇ 理事会（3回開催）
- ◇ 運営委員会（3回開催）
- ◇ 会計監査（4回実施）

■ 広報事業

- ◇ 機関紙「Rainbow Net」の発行（2回／第22号・第23号）

Ⅱ 受託事業の関係

- 宮古圏域障がい者自立支援協議会の運営（宮古圏域4市町村からの受託事業）

- ◇ 宮古圏域障がい者自立支援協議会（親会）（3回開催）

- ◇ 専門部会の開催
- ・ 実務担当者会議（9回開催）

- ・ 生活支援部会（6回開催）
- ・ 権利擁護部会（5回開催）
- ・ 精神保健部会（6回開催）
- ・ 発達支援部会（6回開催）

- 宮古地区地域生活支援事業の実施（宮古圏域4市町村からの受託事業）

- ◇ 障がい者相談支援事業
- ・ 年間の相談支援延べ件数10,015件
- （※前年度8,738件）

- ◇ 地域活動支援センター1型事業
- ・ 年間の延べ利用者数2,767人
- （※前年度2,441人）

- 障害支援区分認定に係る訪問調査の実施（契約市町村からの受託事業）

- ◇ 実施件数 宮古市36件 岩泉町10件
- 田野畑村14件 圏域外1件

- サービス等利用計画の作成業務

- ◇ 計画作成（契約）件数539件
- （モニタリング回数936件）

- 岩手県地域生活支援広域調整会議等事業の実施（岩手県からの受託事業）

- ◇ 地域委員会（6回開催）
- ◇ 精神科病院等からの地域移行者5名

Ⅲ 自主事業の関係

- フェスタ等の交流事業

- ◇ 宮古圏域障がい者スポーツ交流会
- ・ 5月19日 宮古市民総合体育館
- 参加者320名

- 競技・ソフトバレー、スカットボール
- アトラクション・フリースロー、輪投げ、
- PKゲーム、卓球バレー

- ◇ 農福連携に係る交流会

- ・ 7月27日 潮風のハーブ園（宮古市八木沢）
- 参加者34名

- ◇ ハーブ園で農作業＆ハーブ石けん作り
- ◇ はあとふるフェスタ2016（つなごう）
- ・ それぞれの想い

- ・ 10月23日 宮古市末広町商店街（花の木通り）

- あおぞらギャラリー、グループアート展

示、お祭り広場、路上イベント



はあとふるフェスタ 路上イベント

■ セミナー・研修会等

- ◇ 子育て講話＆そだちの相談会（発達支援部会）
- ・ 3回開催

- （5月岩泉町、7月山田町、11月宮古市）
- 参加者102名

- 講師 みちのく療育園小児科医 川村みや子氏

- ◇ 発達障がい学習会（発達支援部会）
- ・ 第1回 6月11日 午前：岩泉町
- 参加者45名

- 6月11日 午後：宮古市
- 参加者114名

- 講師 NPO法人PDDサポートセンター・グリーンフォーレスト 理事長

- 簗一誠氏



権利擁護セミナー



発達支援セミナー

- ・第2回 8月6日 宮古市（シートピアなあと）
参加者38名
講師 みちのく療育園 園長 伊東宗行氏
- ◇権利擁護セミナー（権利擁護部会）
・7月26日 宮古市民文化会館中ホール
参加者126名
講師 全国権利擁護支援ネットワーク代表
國學院大学教授・弁護士 佐藤彰一氏
- ◇障がい者相談支援スキルアップセミナー（生活支援部会・相談支援グループ）
・12月7日 宮古市民総合体育館
参加者62名
講師 愛生会昭和病院 小児科医 鈴木徹郎氏
- ◇地域生活支援セミナー（精神保健部会）
・12月9日 宮古市民総合体育館
参加者20名
講師 NPO法人みやぎこうでねいと 理事長 齋藤宏直氏
- ◇発達支援セミナー（発達支援部会）
・12月17日 岩手県立大学宮古短期大学部
参加者129名

- ・第1部
講演「ときめく瞬間を重ねて〜今、必要な力 イロスの時間〜」
講師 児童精神科医 渡辺久子氏
- ・第2部
オープンカンファレンス（公開事例検討会）
助言者 児童精神科医 渡辺久子氏
臨床心理士 酒井道子氏
- ◇高次脳機能障がい支援者研修会（岩手県委託事業）
・1月25日 シートピアなあと 参加者77名
・第1部
講演「高次脳機能障がいの基本的理解」
講師 いわてリハビリテーションセンター医療連携部総合相談科 主任ソーシャルワーカー 上田大介氏
- ・第2部
講演「当事者の体験談」
講師 小林春彦氏
- ◇精神保健福祉ボランティアフォローアップ研修会（地域活動支援センター）
・2月8日 シートピアなあと
参加者24名
講師 盛岡ハートネット事務局 黒田大介氏
他当事者家族（5名）
- ◇宮古圏域チャレンジドフォーラム（生活支援部会）
・2月10日 休暇村陸中宮古 参加者69名
・第1部
講演「これからのB型事業所のあり方について…」
講師 埼玉県立大学 教授 朝日雅也氏
- ・第2部
パネルディスカッション「B型事業所における「働く」とは」



地域懇談会

- 障がい当事者等に関わる懇談会等
- ◇ココロつながる会の集い
・10月6日 宮古市総合福祉センター
参加者8名
- ◇はあとふる懇談会（重度重複障がい児者の暮らしを考える集い）
・11月24日 宮古市総合福祉センター
参加者21名
講師 三枚堂静子氏
- ◇なないろ茶話会〜知ろう、社会資源、制度のこと〜（発達支援部会）
・2月25日 宮古地区合同庁舎
参加者22名
- ◇地域懇談会
・田野畑村、山田町、宮古市の3ヶ所で開催
参加者合計154名

【レインボーネット 平成28年度 決算報告】

●活動計算書

収益の部

科 目		金額 (円)
経常収益	受取会費	237,500
	受取寄附金	91,000
	受取助成金	0
	事業収益	76,199,811
	宮古地区地域生活支援事業等	57,300,000
	相談支援事業	18,290,040
	認定調査事業	309,771
	地域生活支援広域調整会議等事業	150,000
	高次脳機能障がい者支援普及事業	150,000
	その他収益	169,045
	受取利息	145
	雑収益	168,900
経常収益計①		76,697,356

費用の部

科 目		金額 (円)
経常費用	事業費	69,539,120
	人件費	23,896,306
	その他経費	45,642,814
	管理費	5,856,186
	人件費	2,312,022
	その他経費	3,496,164
	減価償却費	48,000
経常費用計②		75,395,306
当期経常増減額 ①－②＝③		1,302,050
固定資産除去損 ④		0
税引前当期正味財産増減額 ③－④＝⑤		1,302,050
法人税、住民税及び事業税 ⑥		324,300
当期正味財産増減額 ⑤－⑥＝⑦		977,750
前期繰越正味財産額 ⑧		10,900,386
次期繰越正味財産額 ⑦＋⑧		11,878,136

●貸借対照表

(単位：円)

【資産の部】	
流動資産	15,702,749
現金預金	11,375,893
未収金	4,294,350
立替金	32,506
固定資産	2,417,538
什器備品	72,004
退職給付引当資産	2,345,534
資産の部合計	18,120,287

【負債の部】	
流動資産	3,896,617
未払金	3,572,317
預り金	0
未払法人税等	324,300
固定負債	2,345,534
負債の部合計	6,242,151
【正味財産の部】	
前期繰越正味財産額	10,900,386
当期正味財産増加額	977,750
正味財産合計	11,878,136
負債及び正味財産合計	18,120,287

新任職員紹介

よろしくお願いします！



栗津 優

若竹会のわかたけ学園から異動になり、4月からレインボーネットにお世話になっています。趣味は体を動かすことと音楽が好きでベースを弾いています。不慣れで至らない点が多々あるかと思いますが宜しくお願い致します。

動かすことと音楽が好きでベースを弾いています。不慣れで至らない点が多々あるかと思いますが宜しくお願い致します。



爰岩 梢

4月から、宮古社協に再入社し、出向でレインボーネットにお世話になっています。愛猫と戯れること、車でロックを聴きながら娘たちと歌うことが趣味です。至らないことばかりですが、宜しくお願いします。

車でロックを聴きながら娘たちと歌うことが趣味です。至らないことばかりですが、宜しくお願いします。



阿部 けい子

あっとほうむLife みやこから異動して2ヶ月程経ちましたが、いまだに毎日が新鮮な事だらけです。最近、体を動かす事が楽しくフットサルをやっています。仕事も楽しみながらも乗り越えていければと思います。宜しくお願い致します。

最近、体を動かす事が楽しくフットサルをやっています。仕事も楽しみながらも乗り越えていければと思います。宜しくお願い致します。

現場からのレポート

Report1

「いわて脳外傷友の会 イーハトーヴ沿岸地区」

いわて脳外傷友の会イーハトーヴ

沿岸地区代表 鈴木 春枝



いわて脳外傷友の会イーハトーヴが結成されて12年、沿岸地区

家族会が出来て8年が経ちました。

私達家族会は、事故や病気により脳にダメージを受け、その後の脳損傷に伴う記憶、注意、遂行機能、社会行動障がい等の後遺症により、今までと違う当事者を「何とかしたい」そんな家族の願いを多くの方々に理解して頂ける様、啓発活動をしています。又、外見から分かりにくいため「見えない障がい」とも言われています。修学、就労、日常生活が思う様にいかず、大変な思いでいる事も知って頂きたいと思っております。又、全国に家族会が在り、岩手は盛岡の事務局を中心に県南地区、沿岸地区と分かれていて、その中の私達

沿岸地区は小さな家族会ですが、当事者・家族が家にひきこもり悩んでいないで一歩外に出ておしゃべりを楽しめませんか、といった会です。

月に1回を例会とし、春はお花見から始まり、陶芸、芋の子会、りんご狩り、手作り作品など等、又、レインボーネットさんの協力を得て、研修会、運動、リラクゼーションなどを行っています。

今、家族会が願うことは、支える家族が色々な事情により支えられなくなった時、どうなるのだろうか…といつも不安を抱えています。

その為、これからも行政に協力して頂ける事を切に願っております。

重度心身障害児者の会「ココロつながり会」

代表 中嶋 律子



ココロつながり会は、12家族の会員、有志会員3名

「重度心身障害児者の会 ココロつながり会」

で結成され、今年で12年目を迎えます。

定期的集う時間を設け、事業所の方々にも参加してもらい、変化している家族、子供達の現状を話し合い、今必要としている要望をしてきました。

二つの施設で、医療的ケアが必要な子供達の受け入れが可能になりました。その他、学校、施設への送迎サービス。又、親の一番の願いであった宮古市内でのショートステイの利用にむけて、現実のものとなるように一歩ずつ進んでいくことを期待します。

障害のある子供達との出逢いを大切にしてくれる沢山の方々に支えられ、これからもこの宮古で子供達の笑顔と命を輝かせて生きたいと思えます。

一人でも多くの子供達が安心して暮らせる様に、今後共支援をお願い致します。



宮古圏域・ぶくし

Report 2

「宮古市立第二中学校」

— ボランティア活動を通して —

平成29年5月18日に行われた「宮古圏域障がい者スポーツ交流会」にボランティアとして参加した、宮古市立第一中学校の生徒さんに感想をいただきました。



三上 主馬

今回のボランティア活動は、私にとってとても貴重な体験となりました。始めは、不安や緊張でいっぱいでしたが、実際に行ってみると相手が笑顔になり、自分の心も温かくなりました。どう対応するべきかを自分で判断し、思いやりの心を持つ事が出来ました。相手だけでなく、自分も成長でき、これからの社会に役立つ良い経験となりました。



杉本 桃香

私は今回の活動を通して、気持ちは伝わるということを実感しました。バレーやスカットボールなどを楽しんでいる姿を見て、嬉し



新山 奈央

かったし、自分達の楽しい、嬉しいという感情が伝わったと思ったからです。この活動でたくさんの方と交流し、大切な事を学びました。これからの学校生活で意識していきたいです。

を学びました。最初は、何をすればいいのか戸惑うこともありましたが、自分達が楽しめば、相手も楽しくしてくれると思い、楽しんで活動しました。

この活動で、心をかよわせることの喜びを学びました。このような機会をくださりありがとうございます。



ち かつ 「地活センター」



に、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上、社会との交流の促進を目的に、創作的な活動、SST(社会生活技能訓練)・との連携強化のための調整、ボランティアの育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発事業を実施しています。



平 成29年1・2月の調理教室は、栄養士をお招きし、健康への意識啓発(主に糖質や脂質を中心に)を図ることを目的に調理実習を実施しました。

活動報告

調理教室

教えて栄養士さん!!

食と身体の気になる関係



糖質OFFメニュー作りしました!



食品に含まれる糖分量です...

～参加者の声～

- ★サンプルはとても分かりやすかったです。意識するようになり、ビールも糖質OFFのものを購入しています。(T・Iさん)
- ★砂糖に気を付けようと思いました。(Y・Kさん)



スカットボール

- 優勝 ワークブラザみやこB
- 2位 望みの園はまなすA
- 3位 地域活動支援センターみやこ

ソフトバレーボール

- 優勝 ワークハウス アトリエSun
- 2位 センター・うえる花夢
- 3位 きぼうハウス

平 成29年5月18日、宮古圏域障がい者スポーツ交流会が開催されました。当事者、ボランティア・スタッフ含めて約300名の方が参加し、熱戦が繰り広げられました。

今年度も昨年度同様にスカットボール・ソフトバレーで汗を流しました。この他に、中学生ボランティアとのバレー交流もあり大いに盛り上がりを見せ、楽しいひと時となりました。

皆様のご協力に感謝いたします。

宮古圏域障がい者スポーツ交流会

ご参加ありがとうございます



はあとふるズームイン!!

「地域活動支援センターみやこ」では、障がい者等（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病等）を対象にピアカウンセリング等の活動、各種サークル活動を行っています。また、専門の職員を配置し、医療・福祉および地域の社会基盤

【日曜サロン】

日曜日の居場所作りを目的としたサロン活動です。

日 時：第3日曜日 10時～12時

場 所：はあとふるセンター

【フリースペース】

前年度までは隔週での開催でしたが、今年度からは毎週月曜日に開催致します。（祝日を除く）

日 時：毎週月曜日 9時～12時半

場 所：はあとふるセンター

【レクリエーション交流会】

トンボの会のスポーツ交流会の名称を「レクリエーション交流会」に変更します。スポーツだけではなく、音楽療法等を取り入れながら幅広い活動を行います。活動予定は以下の通りです。（知的障がい対象）

6/4	フラ(ダンス)	11/12	スカットボール フライングディスク
7/9	スカットボール フライングディスク	12/9	クリスマス忘年会
8/20	音楽療法	1/14	音楽療法
9/10	卓球バレー	2/11	ラグビー交流会
10/1	キックベースボール	3/4	まとめの会

参

加されている皆さんに、より楽しんで活動していただきたいの思いから、地域活動支援センターみやこの活動内容を一部リニューアル致しました!!

仲間を作りたい、誰かに自分の気持ちを聴いてほしい…理由は何であれ、一緒に活動してみませんか？

ご不明な点等ございましたら、気軽にお問い合わせください。

平成29年度始動!!

今年度の活動

お待ちしております!



地 域活動支援センターみやこの活動においては、当事者の方はもちろんのこと、精神保健福祉ボランティアの方に大活躍していただいております。

一緒にスポーツを行ったり、みんなで思いを伝えあったり、傾聴したり…活動は様々です。

ボランティアに興味がある方、ぜひ気軽にお問い合わせ下さい。みんなで楽しい時間を過ごしましょう。

精神保健
福祉
ボランティア
活躍中!

平成29年度 事業計画・予算

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)では、障がいをお持ちの方の豊かな暮らしの実現に向けて、今年度も各種事業に取り組みます。

【重点目標】

- ◎計画相談支援等を推進するため、基幹相談支援センターとして地域の障がい者等の相談支援体制の連携・強化に努めます。
- ◎障害者虐待防止法、障害者差別解消法などの趣旨を踏まえ、障がい者の権利擁護の推進に努めます。
- ◎障がい者の地域移行希望等調査結果の活用を図るなど、入所施設や精神科病院からの地域移行の推進に努めます。
- ◎高次脳機能障がい者に対する支援体制の整備を図るため、関係機関等による連絡会を開催するとともに、普及・啓発事業を実施し、理解促進に努めます。
- ◎地域活動支援センター事業の充実を図るため、活動アンケート調査を実施するとともに、市町村や当事者のニーズに対応した取り組みの推進に努めます。

Ⅰ 法人運営の関係

(1) 法人の中立公正な運営に取り組みます。

・総会（1回開催）

・理事会（3回開催）

・運営委員会（3回開催）

・会計監査（4回実施）

(2) 会員等に対する情報発信に取り組みます。

・ホームページを活用した情報提供

・機関紙「Rainbow Net」の発行（第24号・第25号）

・社会資源マップ、地活だより、各種イベントチラシの配布

Ⅱ 受託事業の関係

(1) 宮古圏域4市町村から委託された宮古地区地域生活支援事業等を適切に実施します。

・基幹相談支援センター事業（相談支援事業、基幹相談支援センター等機能強化事業、住宅入居等支援事業、障害者虐待防止センター事業）

・地域活動支援センター事業（基礎的事業、機能強化事業）

(2) 宮古圏域障がい者自立支援協議会の適正な運営に取り組みます。

・圏域協議会、実務担当

者会議、生活支援部会、権利擁護部会、精神保健部会、発達支援部会の定期的な開催

・講演会、セミナー等の開催（専門部会等の主催で実施）

Ⅲ 自主事業の関係

(1) 高次脳機能障がい支援事業

・連絡会、家族教室、講演会、研修会の開催を行います。

(2) 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援、障害支援区分認定調査に取り組みます。

(3) 障がい当事者・家族・関係機関・地域住民の親睦を深める事業

・宮古圏域障がい者スポーツ交流会、はあとふるフェスタ2017の開催を行います。

(4) 各種ネットワークの拡充と連携強化に努めます。

・障がい当事者団体等ネットワーク、障がい福祉サービス事業者連絡会との連携、宮古圏域障がい児・者相談支援連絡会議の開催など

【平成29年度・活動予算書】

収益の部

(単位:千円)

科 目	金 額
受取会費	248
受取寄附金	1
受取助成金等	0
事業収益	71,750
宮古地区地域生活支援事業等	57,300
地域生活支援広域調整会議等事業	150
相談支援事業	14,000
認定調査事業	300
その他収益	221
経常収益計 ①	72,220

費用の部

(単位:千円)

科 目	金 額
事業費	66,533
人件費	23,887
その他経費	42,646
管理費	5,687
人件費	2,295
その他経費	3,342
減価償却費	50
経常費用計 ②	72,220
当期正味財産増減額 ③=①-②	0
前期繰越正味財産額 ④	11,878
次期繰越正味財産額 ③+④	11,878

エッセイ
Essay

虹の架け橋

盛岡ハートネット

田代万由子さんからの寄稿

いつの頃からか、私は悲しいことがあったとき、誰にも気づかれないように、唇をきつく結んで耐えることがクセになっていました。母が「うつ」を発症したとき、私はまだ小学生。母は以前とは別人のように変わっていききました。みるみる陰鬱になっていく家族の中で、誰にも話さず、相談せず、自分一人でさまたまなことを抱え込んで生きてきました。「どつせ話したところで誰にもわかってもらえない」。そんな思いが強かったからです。

昨年二月、縁あって宮古圏域の精神保健ボランティアさんの研修会に、盛岡ハートネットの一員として参加させて頂きました。

私が家族としての経験を話す番になったとき、例によって「泣くまい」と唇をきつく結んで、我慢していました。しかし、目の前で話を聞いてくださっているボランティアの皆さんやスタッフの方たちが泣いているのを見たとき、自然と涙がこぼれてきました。家族はもとより、大勢の前で泣いてしまったのは、初めてのことでした。

このときの涙は、悲しみとは少し違っていました。今までは「誰にもわかってもらえない」と思っていました。勇気を出して話してみると、一緒に泣いてくれる人もいんだ、と温かな気持ちになりました。また、全て自分で何とかしなければならぬと

思い込んできましたが、勝手に心の扉を閉めてしまっていただけで、「案外一人ではなかったのかも」と光が差し込んできたように感じました。そうした思いが溢れて、涙がこぼれてしまったのかもしれない。

海外の研究では、自らの経験や感情について話すことによって、精神障害について語ることへの抵抗感が弱まり、家族内でのコミュニケーションが増えたり、友人や地域、支援者といった家族外にも開示できるようにもなることで、リカバリーに寄与することが明らかにされています。

しかしながら、日本においては社会的な環境はまだまだ整っているとは言えません。平成二十八年四月より「障害者差別解消法」が施行され、差別解消に向けた機運が高まっていますが、当事者の方やご家族の方は十分に実感を得られていないのが現状ではないかと思われまふ。また、そうした現状から、なかなか周囲に助けを求めることができず、適切な支援につながりにくいことが課題とされています。

宮古圏域には、こんなにも心があたたく、真剣になって考えてくれている人たちがいる。そのことだけで、当事者や家族の方は本当に心強く感じられているだろうと思います。「あなたは一人じゃないよ」と語りかけてくれるような精神保健ボランティアの皆さんやスタッフの方たちの存在が、これから多くの人に光を届けていくことになるかと期待しています。

なんでも KEIJIBAN

第1回 発達障がい学習会



講師

NPO法人PDDサポートセンター・
グリーンフォーレスト
理事長 篁 一誠氏

●日時 6月10日(土)

●第1部

講演 午後1時～午後3時

●第2部

事例検討 午後3時30分～午後5時

●会場

シートピアなあと2階研修ホール

●テーマ

自閉症スペクトラム教育と支援の「か
んごころ」

●講師 NPO法人 PDDサポート
センター・グリーンフォーレスト

理事長 篁一誠氏

●対象者

①第1部（興味のある方ならどなた
でも）

②第2部（教育関係者・医療関係者・
福祉関係者）

●定員

①第1部 100名（参加費無料）
②第2部 30名

高次脳機能障がい・家族教室

病気や事故で脳に損傷を受け、脳の機能が上手く働かなくなることや「高次脳機能障がい」といいます。「高次脳機能障がい」のある当事者やその家族が、それぞれ抱えている様々な不安や悩みを語り合ったり、症状について学ぶ『家族教室』を次の日程で開催します。

●日時 7月18日(火) 午前10時～正午
●会場 山口公民館
●内容 音楽療法
●講師 山崎尚子氏

地域生活支援セミナー

●日時

8月24日(木)

午後1時30分～午後3時30分

●会場

陸中ビル3階大会議室

●テーマ

「地域生活へ進め！」～地域で暮らす価値の再考～

●講師

日本グループホーム学会代表
山田優氏

●対象者

学校関係者・医療関係者・福祉関係者・保護者・関心のある方どなたでも

●定員

100名

●平成29年度「地域懇談会」
宮古圏域の各市町村を会場に、地域懇談会を開催いたします。

●日時・場所

●山田町

7月26日(水)

午後1時30分～午後3時30分
望みの園はまなす

●田野畑村

8月23日(水) 午後1時～午後3時

ハックの家

●岩泉町

10月中旬 岩泉町民会館

●宮古市

12月中旬 宮古市総合福祉センター

発達支援セミナー

●日時

9月18日(月・祝日)

●会場

陸中ビル3階大会議室

●講師

信州大学医学部付属病院子ども
ものこころ診療部部長
本田秀夫氏

※詳細は後日、お知らせします。

宮古圏域 障がい者自立支援協議会研修会

●日時

10月3日(火)

●会場

午後1時～午後4時(予定)
宮古市民文化会館中ホール

●講師

長野県自立支援協議会会長
日本相談支援専門員協会顧問
福岡寿氏

●問い合わせ先 レインボーネット事務局

TEL 0193-64-7878
FAX 0193-77-3921

会員募集

NPO法人
レインボーネットの活動を
応援してくださる方を
募集しています。



個人	正会員	1,000円
	賛助会員	500円
団体	正会員	5,000円
	賛助会員	1,000円

編集後記

平成29年度が始まって、早2ヶ月。楽しみにしていたGWも終わり、皆さんいかがお過ごしでしょうか？5月と言えば、『五月病』との言葉があります。『五月病』は実は日本だけのもので、お隣の韓国では新年度が始まる3月頃に同じ様な症状になる人がいるそうです。そして、アメリカ、ドイツ、ブラジルでは、クリスマス休暇が終わった1月頃に似た様な症状が見られる人もいます。ですが、日本の様に同時期にたくさんの方がなることは無いとのこと。ストレス社会、疲れを感じたら、やはりきちんと休むことが必要ですね！！

レインボーネットでは職員の変動などもあり、新年度17名の新メンバーでスタートを切りました。20代30代の職員が増え、少しづつだいたい平均年齢も下がりました。早く名前と顔を覚えて頂けると嬉しいですね。様々な企画でお会いする機会もあると思いますので、皆さん、どうぞよろしくお願いします！(緑川)

発行

NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)
岩手県宮古市緑ヶ丘2番3号
はあとひるセンターみやこF
TEL 0193-64-7878
FAX 0193-77-3921
E-mail info@myako-rainbow.com
URL http://www.myako-rainbow.com/
◆発行責任者 会長 刈屋裕之
◆企画・編集 レインボーネット事務局